



 **アズワン株式会社**

東証プライム (7476)

2025年5月23日

2025年3月期決算説明会

---

**I. 25年3月期 実績**

**II. 26年3月期 業績予想**

**III. 長期ビジョンおよび中期経営計画FY2025-27**

- 1. 前・中期経営計画「Project ONE」の振り返り**
- 2. 長期ビジョン「AS ONE VISION-2035」**
- 3. 新・中期経営計画（3カ年）**

# ハイライト

## 前期実績

### 連結売上高1,000億円を突破。営業利益、当期純利益も過去最高を更新

- ECの伸びが全社成長を牽引、連結売上高は1,037.5億円と過去最高を更新
- 医療の2024年問題への取り組み等への影響でメディカル部門が+2.5%増にとどまるも、堅調なラボ・インダストリー部門が+9.9%増でカバー。サービス事業や設備案件の伸長。
- 当期純利益は前年比+9.7%増、14期連続増配で配当性向54%

## 通期見通し

### 売上高+8.2%増、営業利益+6.0%増と増収増益となる見通し

- 売上高は、ラボ・インダストリー部門ではGX・BXの潮流が研究開発を後押しし、底堅い見通し (+8.9%増)
- メディカルは人手不足等医療機関の厳しい環境を織り込むも、大型設備案件や開業案件に注力 (+5.0%増)
- 九州DC新設移転コストや、人件費増等を見込み、販管費+17億円 (+8.7%増)

## VISION と 中期経営計画

### 10年後の連結売上高2,000億円～3,000億円を目指し、足元の3年を計画

- 3年後**連結売上高1,300億円** (CAGR+7.8%) / 営業利益**148億円** (CAGR+8.5%)
- 品揃えは更に増加させ3年後に**1,700万点**を目指す (+460万点)

## 資本政策

### 設備投資やM & Aに資金を配分しつつ、総還元性向60%～75%、連続増配継続

- 総還元性向は3年間累計で60～75%、かつ配当性向は基準利益の50%**以上**に変更し、累進配当(増配)を継続
- 自己株式保有の上限を5%程度とし、今回5%を消却実施
- 株主還元強化及び資本効率の向上を図る目的で自己株式の取得を上限10億円で実施予定。

---

# 25年3月期 実績

■ 売上高 **1,037.5億円**

前年同期比 **+8.6%** (+82.1億円)

計画比 **+2.4%** (+25.2億円)

**15年連続増収・14年連続過去最高額を更新。**

1,240万点への品揃え拡大とECで研究開発需要を取り込む。サービスも拡大。

■ 営業利益 **115.9億円**

前年同期比 **+11.1%** (+11.5億円)

計画比 **+4.9%** (+5.6億円)

サービス事業や設備案件等の伸長により売上が伸長  
販管費も抑制し、**過去最高額を更新。**

■ 当期純利益 **82.3億円**

前年同期比 **+9.7%** (+7.3億円)

計画比 **+2.1%** (+1.7億円)

**過去最高額を更新。**

# ラボ・インダストリー部門ラボラトリー（LB）売上

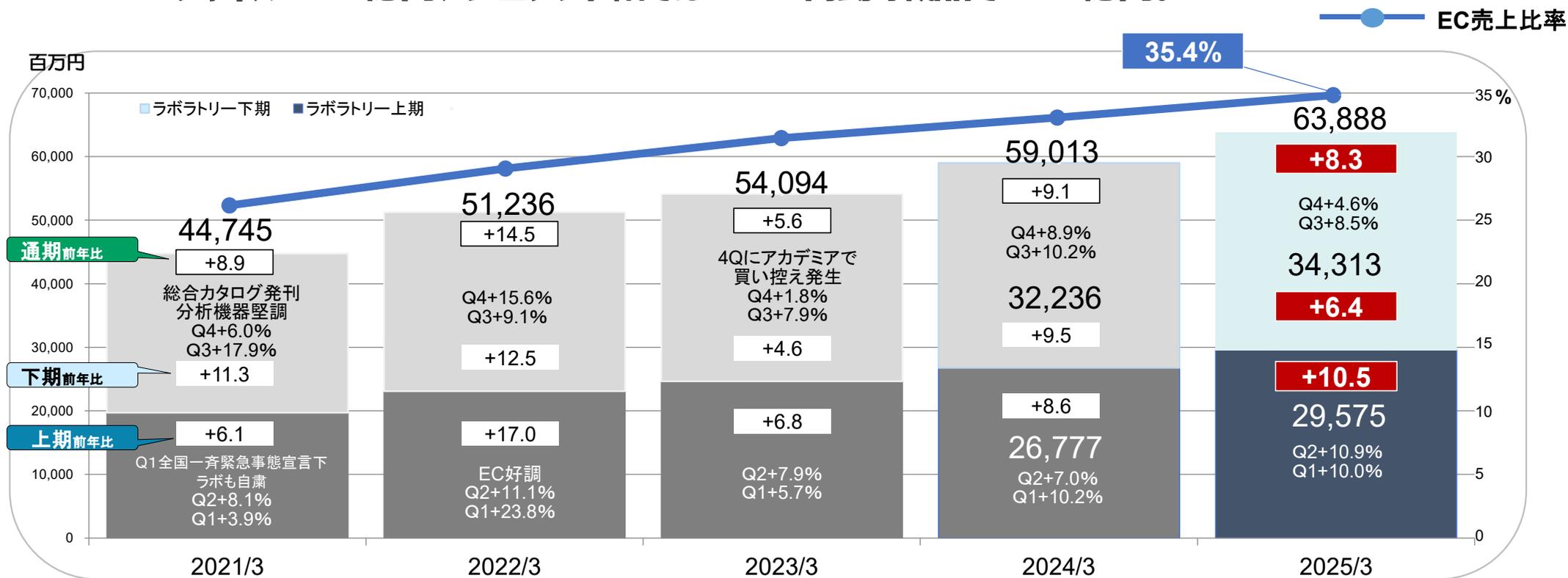
実績

**売上高 638.8億円**

前年同期比 **+8.3%** (+48.7億円)

計画比 **+2.4%** (+15.1億円)

➤ ECチャネル+31億円、プロダクト軸ではWEB単独掲載品で+25億円。



# ラボ・インダストリー部門インダストリー（ID）売上

実績

売上高

221.7億円

前年同期比

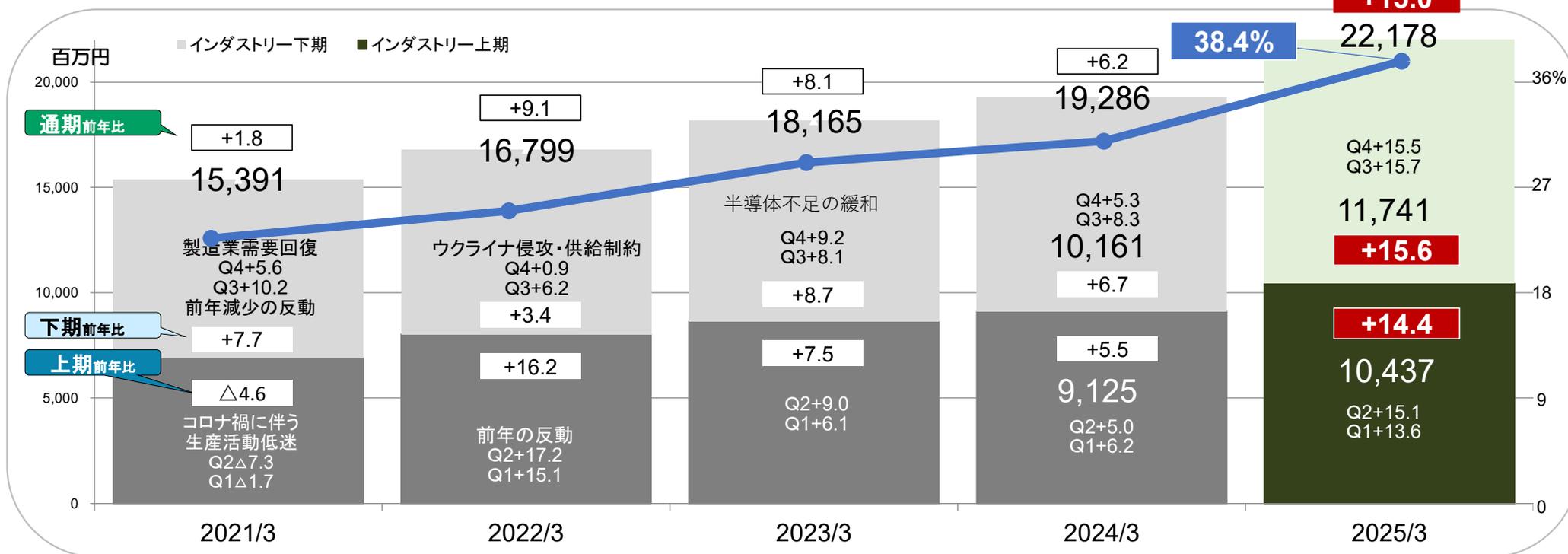
+15.0% (+28.9億円)

計画比

+4.9% (+10.7億円)

ECチャネル+24億円。クリーンルーム用品や計測機器、電材用品が伸張。

EC売上比率



# メディカル（MD）部門売上

実績

## 売上高

# 170.9億円

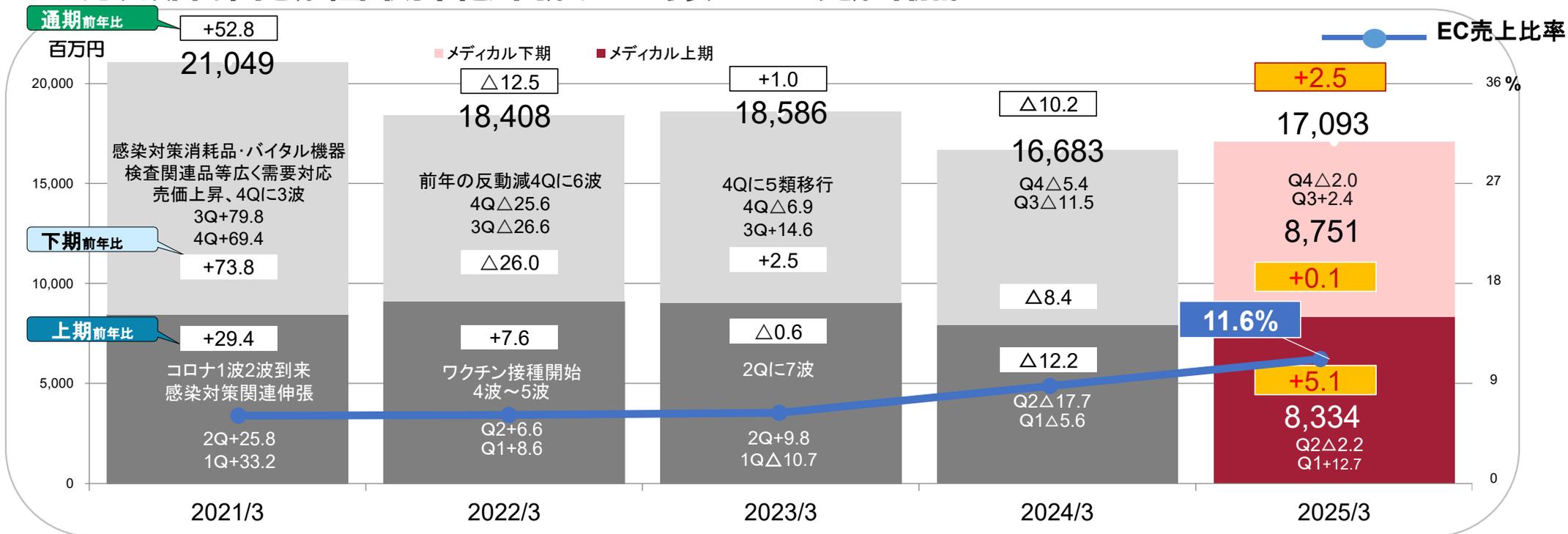
前年同期比

**2.5% (+4.1億円)**

計画比

**△0.6% (△1.0億円)**

- 医療の2024年問題（医療従事者の労働改善等）等への取り組みの影響（経費節減・購買抑制行動）。
- 一方、顧客の関心が経営効率化に向かいつつあり、Ocean先が増加。



# その他売上

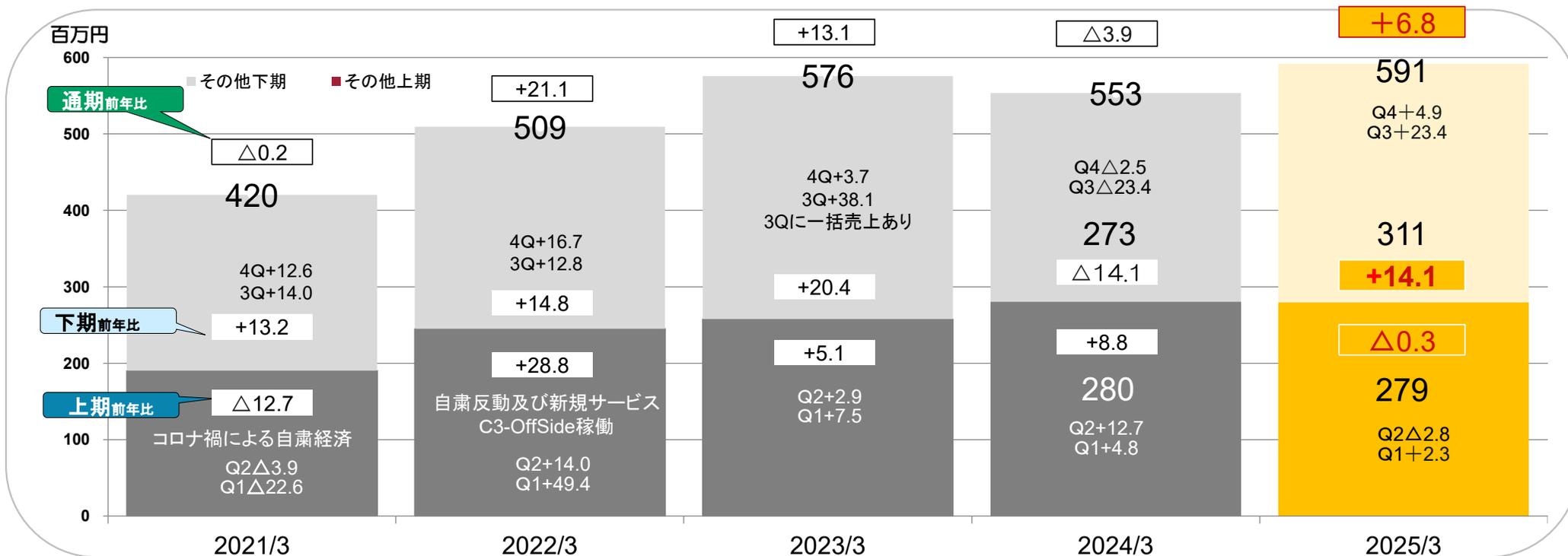
実績

## 売上高

# 5.9億円

前年同期比 **+6.8%** (+0.3億円)  
 計画比 **+5.1%** (+0.3億円)

➤ 子会社トライアンフ21が試薬や研究用物品の購買マッチングをする購買代行システムを運用し手数料売上として計上



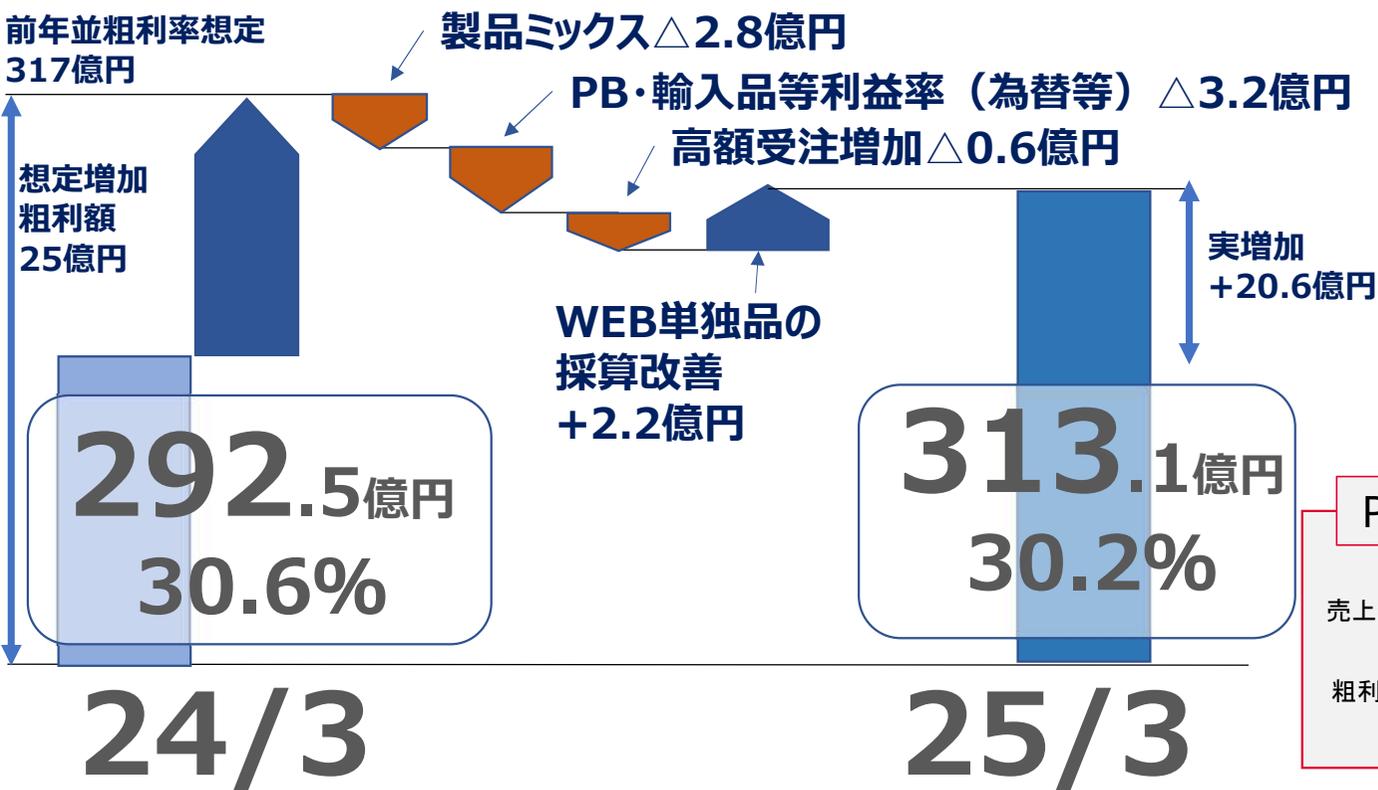
# 営業利益増減理由（粗利）

実績

## 売上総利益 313.1億円

前年同期比 **+7.1% (+20.6億円)**  
 計画比 **+0.3% (+0.9億円)**

➤ サービス事業や品揃えの伸長で売上アップ。一方、円安や製品ミックスの影響で粗利率低下。



四半期粗利率	22/3	23/3	24/3	25/3
	(コロナ禍下での価格変動異常値)			
1Q	30.7%	31.4%	31.4%	30.1%
2Q	26.8%	31.5%	31.2%	30.5%
3Q	30.1%	31.3%	30.2%	30.4%
4Q	29.8%	30.7%	29.8%	29.9%

(単体ベース)

PB・輸入品実績		WEB単独商品	
(前年同期比)		(前年同期比)	
売上シェア	33.2% (△1.8p)	売上シェア	19.7% (+3.2p)
粗利率	△0.6p (前年同期比)	粗利率	+1.2p (前年同期比)

# 営業利益増減理由（販管費）

実績

## ■ 販管費

# 197.2億円

前年同期比

**+4.8% (+9.0億円)**

計画比

**△2.4% (△4.6億円)**

➤ 売上伸長により販管費率0.7pt減の19.0%へ

販管費	2024/3	2025/3	計画比		前年同期比		補足
			増減額	増減率	増減額	増減率	
販管費	18,813	19,721	△ 467	△2.3%	+907	+4.8%	前年7月よりグループ1社増にて1Q分+0.9億円増
広告宣伝費	545	776	△ 96	△11.0%	231	+42.3%	4年ぶり中文カタログ発刊（0.6億円）及び研究用総合カタログ発刊（1.5億円）のカタログ費増
うち印刷費	129	273	△ 5	△1.8%	143	+110.7%	
人件費	6,709	7,003	67	1.0%	+293	+4.4%	期中平均人数前年708→736人（+28人）賃上げ4%
うち退職給付関連	70	△ 102	△ 244	△171.8%	△ 172	△245.9%	前年7月よりグループ1社増1Q分+0.5億円増 金利上昇により退職給付関連マイナス処理
運賃・倉庫作業料	4,757	5,178	△ 46	△0.9%	+421	+8.9%	売上成長+作業人件費増
研究開発費	17	12	△ 33	△72.3%	△ 4	△24.8%	PB品開発費用
不動産賃借料	1,993	1,676	30	1.9%	△ 316	△15.9%	外部倉庫返却&一時的減少2.1億円
減価償却費	912	889	0	0.0%	△ 22	△2.5%	
ソフト償却費	482	517	△ 66	△11.3%	+35	+7.4%	
その他	3,396	3,666	△ 322	△8.1%	+270	+8.0%	前年比：手数料、コンピュータ料等増 計画比：消耗品、修繕費、雑費、行動関連費、コンピュータ料等抑制

（単位：百万円）

# 損益計算書

実績

- 拡大中の品揃えとECとの相乗効果及びサービス事業が売上寄与。
- メディカルで買い控え傾向を見るも、ラボ・インダストリー伸張でカバー。

	2024/3		2025/3		計画比		前年同期比		(単位：百万円) 補足
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率	
売上高	95,536	100.0%	103,751	100.0%	2,521	+2.5%	+8,215	+8.6%	メディカル軟調もラボ・インダストリーでカバー
売上総利益	29,249	30.6%	31,315	30.2%	96	△ 0.7p	+2,065	△ 0.4p	高額機器案件や新規取り扱いNB商品の売れ行き拡大に伴い製品ミックスが変化。一方、web単独商品の価格見直し等により利益率が改善
営業利益	10,435	10.9%	11,593	11.2%	+563	+5.1%	1,157	+11.1%	販管費抑制。過去最高更新。
経常利益	10,825	11.3%	12,071	11.6%	+471	+4.1%	+1,245	+11.5%	過去最高更新。
特別損益	0	0.0%	△ 165	△ 0.2%	△ 165	-	△ 165	-	非上場株式減損
当期純利益	7,500	7.9%	8,229	7.9%	+169	+2.1%	+729	+9.7%	過去最高更新
当期純利益/1株(円)	103.65		114.89		11.27	+10.9%	+11.24	+10.8%	
年間配当金/1株(円)	56.00		62.00		5.00	+8.8%	+6.00	+10.7%	14期連続増配

※2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、2024/3実績は分割後を反映しております。

# 配当実績

➤ 基本方針である基準利益の50%に加え連結売上1,000億円突破の感謝を含めて増配実施

➤ 基本方針 = 59円 + 増配3円 = 62円

**14期連続増配** 日経連続増配指数の構成銘柄として採用中  
<https://indexes.nikkei.co.jp/nkave/index/component?idx=nkcdg>



過去最高額を更新  
**配当金 = 62.0円**

配当性向 = **54.0%**

過去最高を更新  
**ROE = 12.6%**

## 資本コスト

- ・CAPM方式での認識 6.0%~7.0% (金利上昇)
  - ・株式益回り方式での認識 11%前後 (利益成長期待値と年平均株価)
- 更なる資本コストの引き下げを目指す

※1. 2022年1月と2024年4月に各1株を2株に分割。過去に遡及して配当額を4分の1及び2分の1に補正済。

※2. 2023年3月期より50%の元となる基準値より特別損益の影響額を控除する方針に変更。

---

# 26年3月期 業績予想

## 前提条件

- GX・BXの潮流が研究開発を後押しし、DX潮流がEC利用を加速。
- 人手不足による緩やかな物価上昇。
- 効率調達（レンタル、シェアリング、管理購買等）需要の拡大。
- 米国通商政策に伴う影響は加味せず。

## 売上高

1,122.9億円

過去最高額を更新

前年同期比 +8.2%

+85.4億円

## 営業利益

122.9億円

過去最高額を更新

前年同期比 +6.0%

+6.9億円

## 当期純利益

87.5億円

過去最高額を更新

前年同期比 +6.3%

+5.2億円

# 26/3期 分野別通期売上見通し

見通し

単位:百万円

	上期 計画	前年 同期比	伸率(%)	下期 計画	前年 同期比	伸率(%)	通期	前年 同期比	伸率(%)
ラボラトリー	32,458	+2,882	+9.7%	36,991	+2,678	+7.8%	69,450	+5,561	+8.7%
	大学10兆円ファンドやGX債などの外、半導体研究開発などの国の支援堅調。品揃え・サービス・ECの優位性がオーガニックに成長を促進。								
インダストリー	11,429	+992	+9.5%	12,860	+1,119	+9.5%	24,290	+2,111	+9.5%
	クリーンルーム関連MROや食品関連堅調。EC拡大。								
メディカル	8,832	+497	+6.0%	9,109	+349	+4.0%	17,941	+847	+5.0%
	CPC（細胞培養加工施設）や新規開業案件獲得や既存先の稼働件数増加に注力。								
その他	299	+19	+7.1%	309	△2	△0.8%	608	+17	+2.9%
	通過取扱高150億円超。購買代行システム利用先増でベース売上拡大。								
合計	53,020	+4,393	+9.0%	59,270	+4,145	+7.5%	112,290	+8,538	+8.2%

## ➤ ECは、アカウント拡大及び品揃え拡充による既存先深耕を図る。

単位：百万円

	24/3 実績	25/3 実績	伸率 (%)	26/3 上計画	前年 同期比	伸率 (%)	26/3 下計画	前年 同期比	伸率 (%)	26/3 年計画	前年 同期比	伸率 (%)
<b>ocean</b>	13,237	15,610	+17.9	8,540	+1,145	+15.5	9,435	+1,220	+14.9	17,976	+2,366	+15.2
接続数	339社	431社	+27.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
<b>Wave</b>	1,328	1,779	+34.0	1,013	+229	+29.3	1,288	+292	+29.4	2,300	+521	+29.3
稼働ユーザー数	4,103	5,380	+31.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アカウント数	17,693 社	21,032 社	+18.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—
<b>AXEL Shop</b>	2,110	2,414	+14.4	1,304	+177	+15.7	1,432	+144	+11.2	2,736	+322	+13.3
ネット通販	11,151	14,122	+26.6	7,654	+1,075	+16.3	8,688	+1,144	+15.2	16,342	+2,219	+15.7
<b>EC計</b>	<b>27,826</b>	<b>33,926</b>	<b>+21.9</b>	<b>18,511</b>	<b>+2,626</b>	<b>+16.5</b>	<b>20,843</b>	<b>+2,801</b>	<b>+15.5</b>	<b>39,354</b>	<b>+5,428</b>	<b>+16.0</b>

## ➤ 中国は1-12月計画。為替想定レート1元 = 21.6円。

中国	3,269	3,434	+5.1	1,776	+160	+9.9	2,072	+253	+13.9	3,848	+413	+12.0
その他海外	1,899	2,174	+14.5	1,239	+178	+16.8	1,148	+34	+3.1	2,387	+212	+9.8
<b>海外計</b>	<b>5,169</b>	<b>5,609</b>	<b>+8.5</b>	<b>3,015</b>	<b>+338</b>	<b>+12.6</b>	<b>3,220</b>	<b>+288</b>	<b>+9.8</b>	<b>6,235</b>	<b>+625</b>	<b>+11.1</b>

※ECはLB/ID/MDそれぞれに売上計上されます。海外はLBに売上計上されます。

- 品揃えの拡大は、確実に売上に貢献中。
- 10年前7万点だった品揃えは中計目標1000万点達成済。1,390万点を目指す。

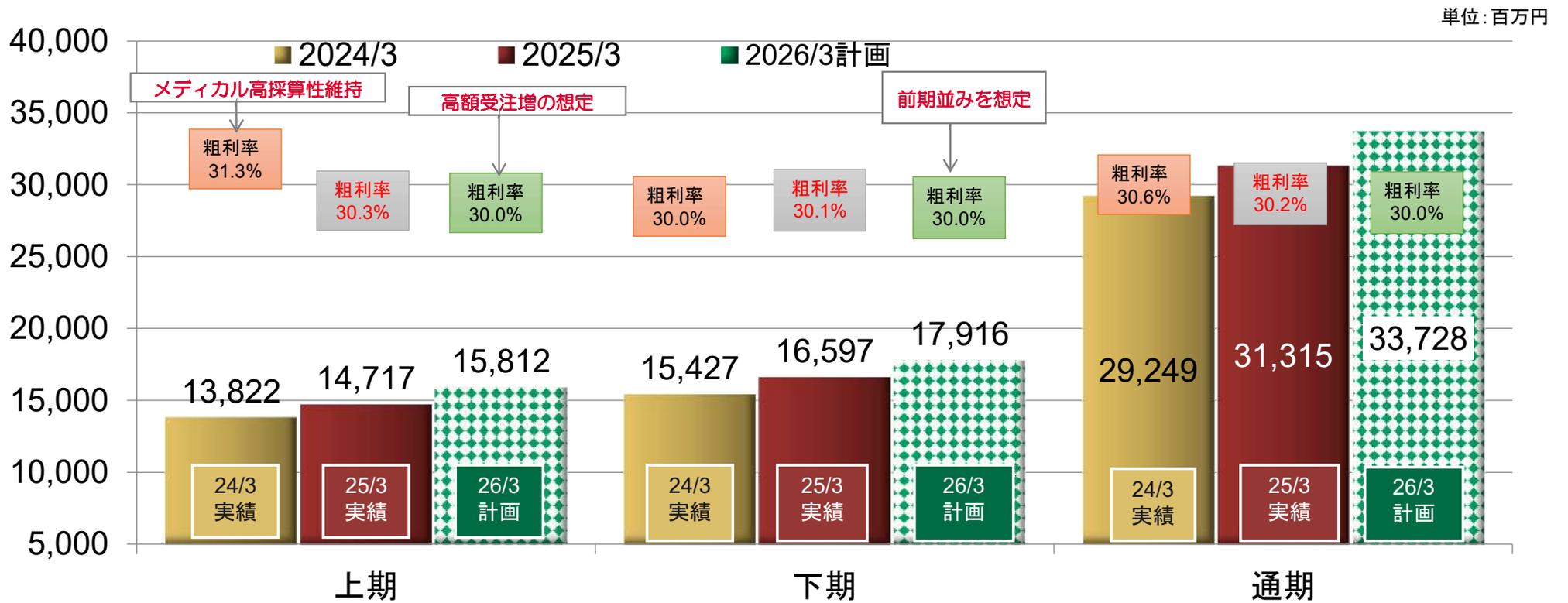
	24/3 実績	25/3 実績	伸率 (%)	26/3 上計画	前年 同期比	伸率 (%)	26/3 下計画	前年 同期比	伸率 (%)	26/3 年計画	前年 同期比	伸率 (%)
品揃え	万点 1,060	万点 1,240	% +16.9	+万点 70	+万点 160	+13.9	+万点 80	+万点 150	+12.1	万点 1,390	万点 +150	% +12.1
WEB単独掲載 品売上高	百万円 15,121	百万円 19,865	% +31.4	—	—	—	—	—	—	百万円 23,870	百万円 +4,005	% +20.2
サービス売上	百万円 3,559	百万円 4,004	% +12.5	—	—	—	—	—	—	百万円 4,267	百万円 +263	% +6.6

※WEB単独商品売上及びサービス売上はLB/ID/MDそれぞれに売上計上します。

■ 売上総利益
337.2億円

 前年同期比 +7.7%  
+24.1億円

➤ 高額受注案件想定し、前下期並みに据え置き。為替変動は加味せず。



## ■ 販管費

# 214.3億円

前年比 **+8.7%**  
**+17.1億円**

➤ 人件費増や九州DC移転等で費用等増加見込み。

	2025/3実 績	2026/3 期初計画	前年比増減額		通期前年比		補 足
			上期	下期	増減額	増減率	
<b>販 管 費</b>	19,721	<b>21,437</b>	928	788	1,716	8.7%	
<b>広告宣伝費</b>	776	<b>668</b>	△ 115	8	△ 107	△ 13.9%	昨年は研究用総合カタログ及び4年ぶりの中国語カタログ発刊。今年度は2Qにメディカルカタログ発刊予定
うち印刷費	273	130	△ 153	10	△ 143	△ 52.3%	
<b>人件費</b>	7,003	<b>7,561</b>	246	312	557	8.0%	賃上げ継続。採用も拡大。
うち退職給付関連	△ 102	119	2	220	221	-	
<b>運賃・倉庫作業料</b>	5,178	<b>5,583</b>	177	228	405	7.8%	入出荷量増加+効率化推進
<b>研究開発費</b>	12	<b>24</b>	11	0	11	89.1%	メディカルカタログ向けPB品など
<b>不動産賃借料</b>	1,676	<b>1,933</b>	231	27	257	15.4%	前年一時減の復活&九州DC稼働
<b>減価償却費</b>	889	<b>903</b>	22	△ 9	13	1.5%	固定資産投資予算13億円
<b>ソフト償却費</b>	517	<b>539</b>	△ 1	23	22	4.3%	IT投資予定6.7億円
<b>その他</b>	3,666	<b>4,223</b>	358	199	556	15.2%	九州DC移転、光熱費、設備修繕、備品消耗品費、手数料、システム費等

(単位：百万円)

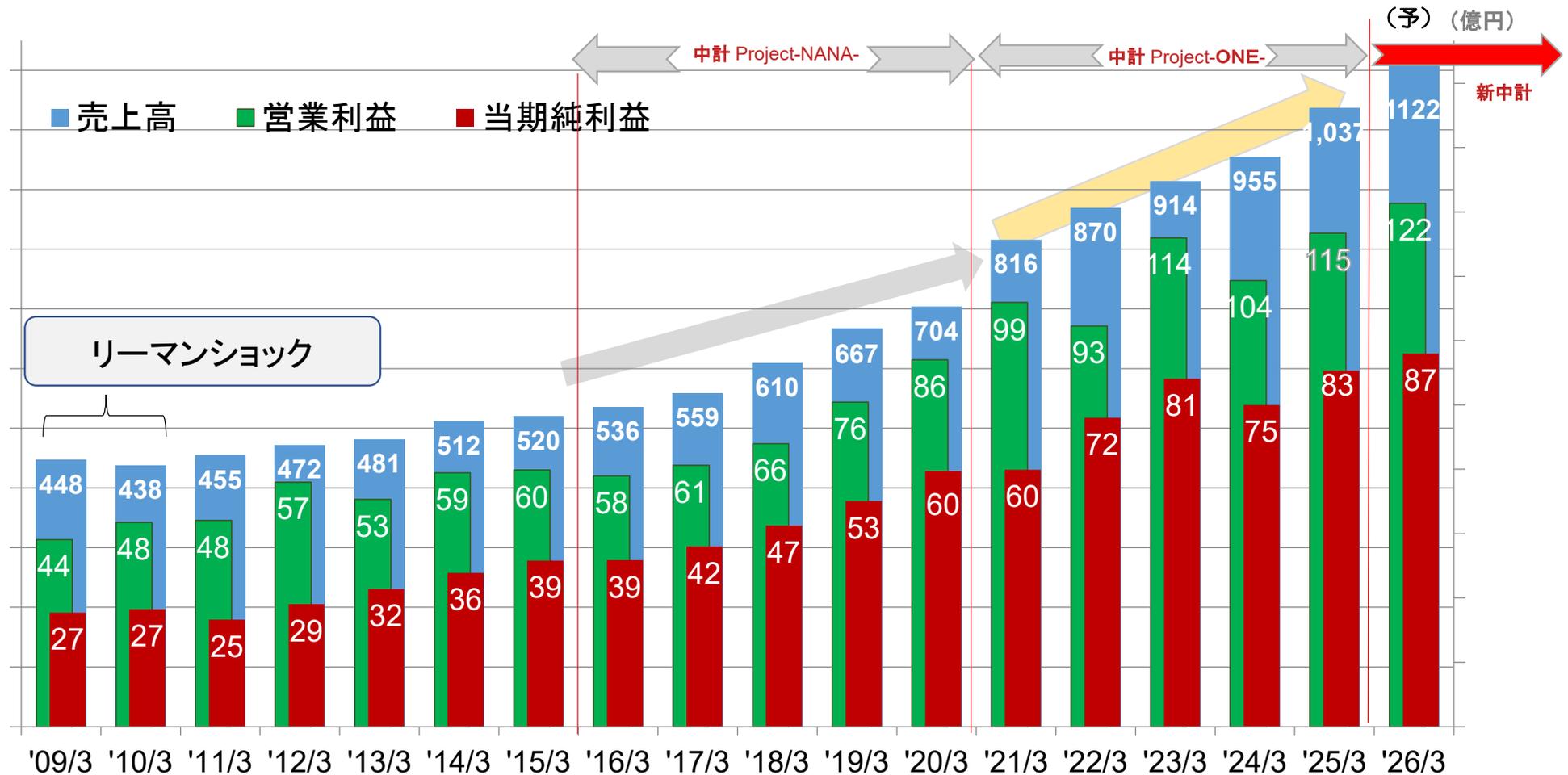
# 26/3期 予想損益計算書

見通し

(単位：百万円)

	2025/3実績		2026/3計画		前年比増減額		通期前年比		補 足
	金額	売上比	金額	売上比	上期	下期	増減額	増減率	
売上高	103,751	100.0%	112,290	100.0%	4,393	10,643	8,538	8.2%	16期連続過去最高へ
売上総利益	31,315	30.2%	33,727	30.0%	1,210	3,083	2,412	△ 0.1	高額受注想定し、粗利は前下期並みを想定
営業利益	11,593	11.2%	12,290	10.9%	282	1,472	696	6.0%	過去最高を見込む
経常利益	12,071	11.6%	12,690	11.3%	181	1,351	618	5.1%	
特別損益	△ 165	△ 0.2%	0	0.0%	-	-	165	-	
当期純利益	8,229	7.9%	8,750	7.8%	0	0	520	6.3%	
当期純利益/1株(円)	116.47		122.12		0	0	5.65	4.9%	
配当金/1株(円)	62.00		63.00		3	△ 2	1.00	1.6%	

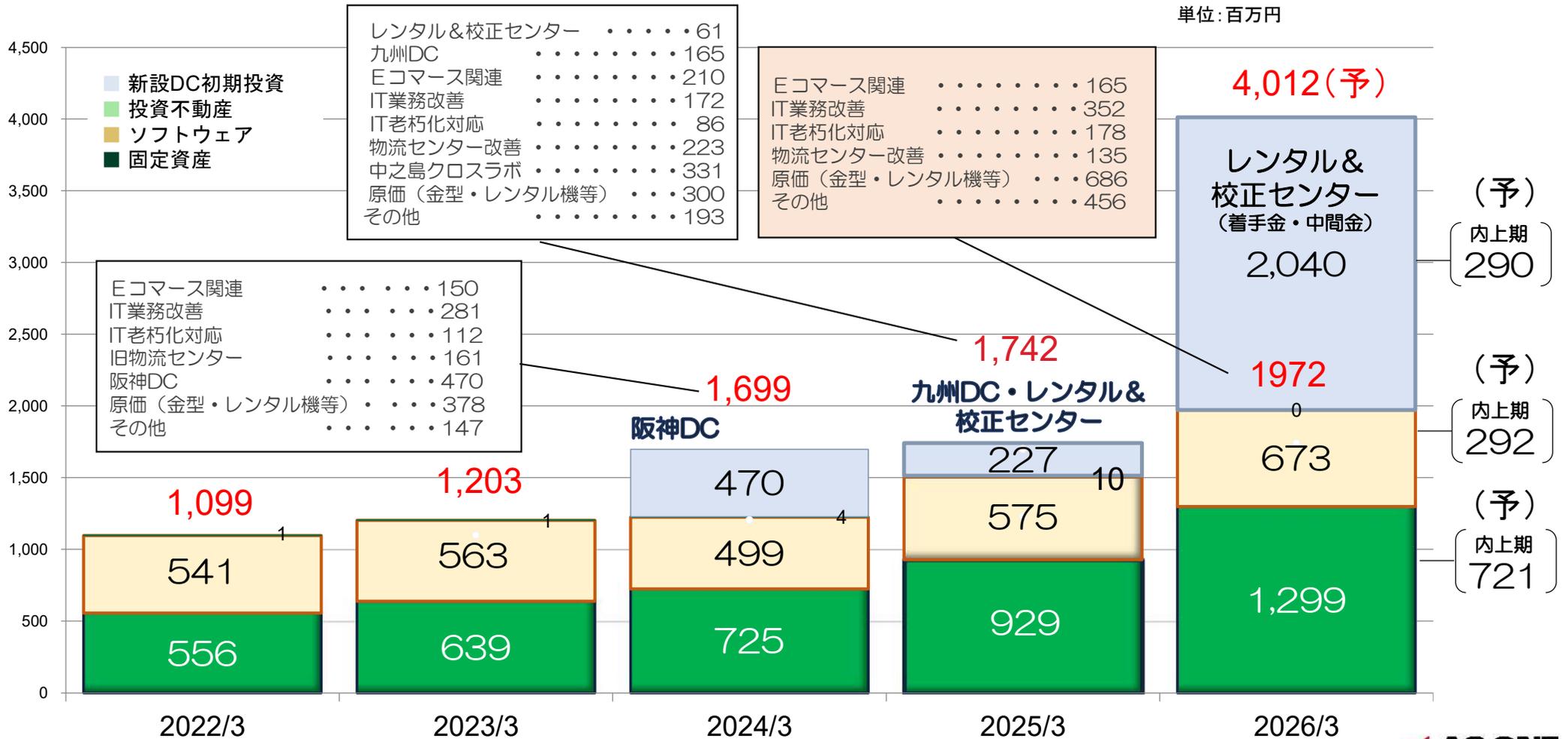
➤ グループ連結売上高1,000億円突破。引続き売上・利益共に過去最高更新。次のステージを目指す。



# 投資推移

見通し

➤ 大阪市内の自社保有地に新レンタル&校正センター建設開始。稼働開始は2027年1月予定。

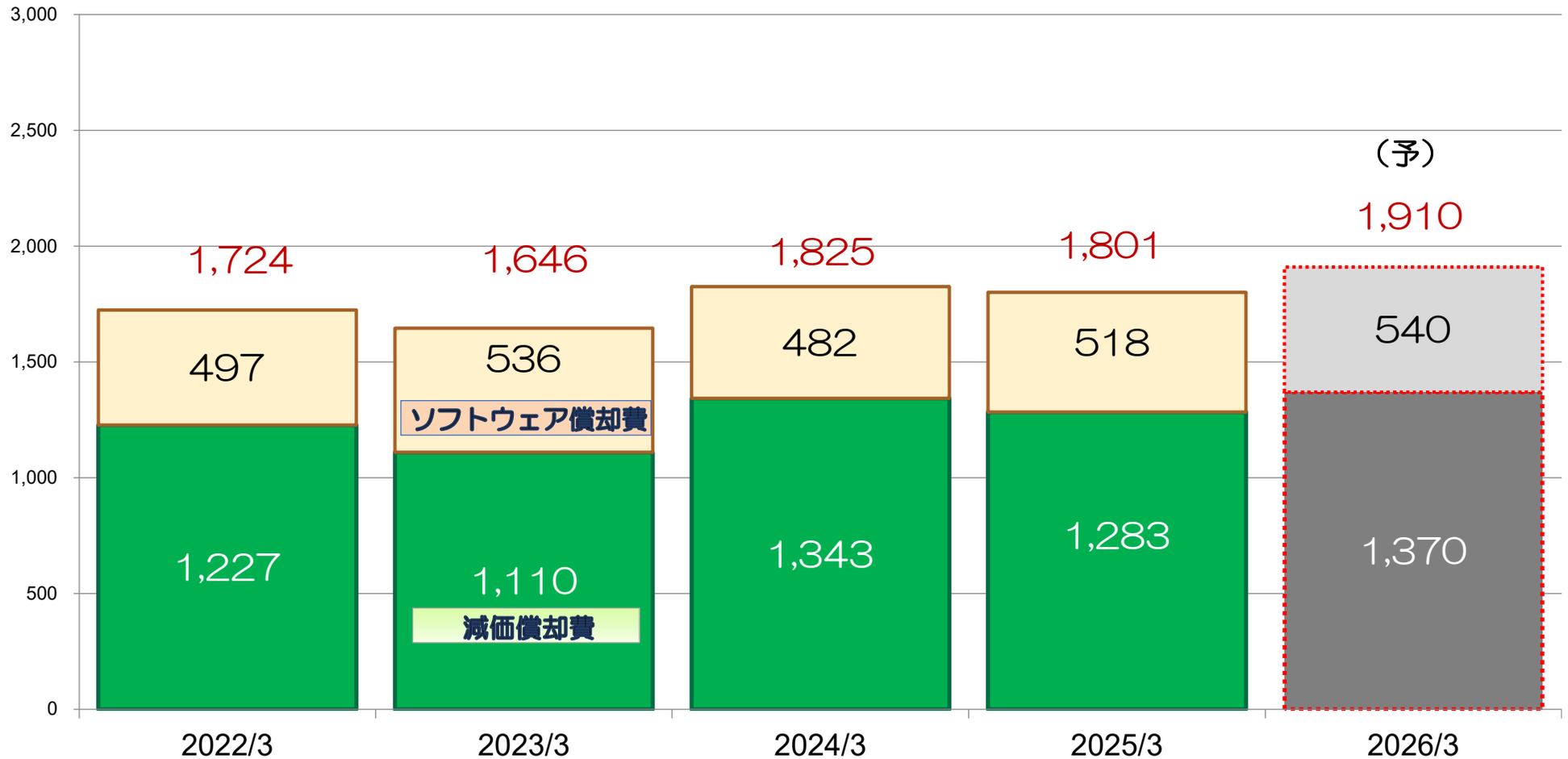


# 償却費推移

見通し

➤ 例年並みを見込む。

単位：百万円



---

---

# 参考データ

## (参考) ロングテール商品がクイズプログラムに

東京大学発の知識集団「QuizKnock」のYouTubeチャンネル『QuizKnock会議中【サブチャンネル】』で、当社のカタログと、取り扱い商品を題材に番組が構成されました。

研究・実験器具のロングテール度合いの一端を感じ取っていただけたと思います。  
ご一興にご覧ください。(約20分)



分厚すぎるカタログで実験器具クイズ

<https://www.youtube.com/watch?v=JppBaoiKG-c>



# (参考) 紹介動画 (スマートD C・レンタル&校正センター)

## スマートD C



[https://www.youtube.com/watch?v=ZO-ojF2NjI4&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?v=ZO-ojF2NjI4&feature=emb_logo)

[https://www.youtube.com/watch?v=W1Oh3Svxh\\_k](https://www.youtube.com/watch?v=W1Oh3Svxh_k) (翻訳入り)

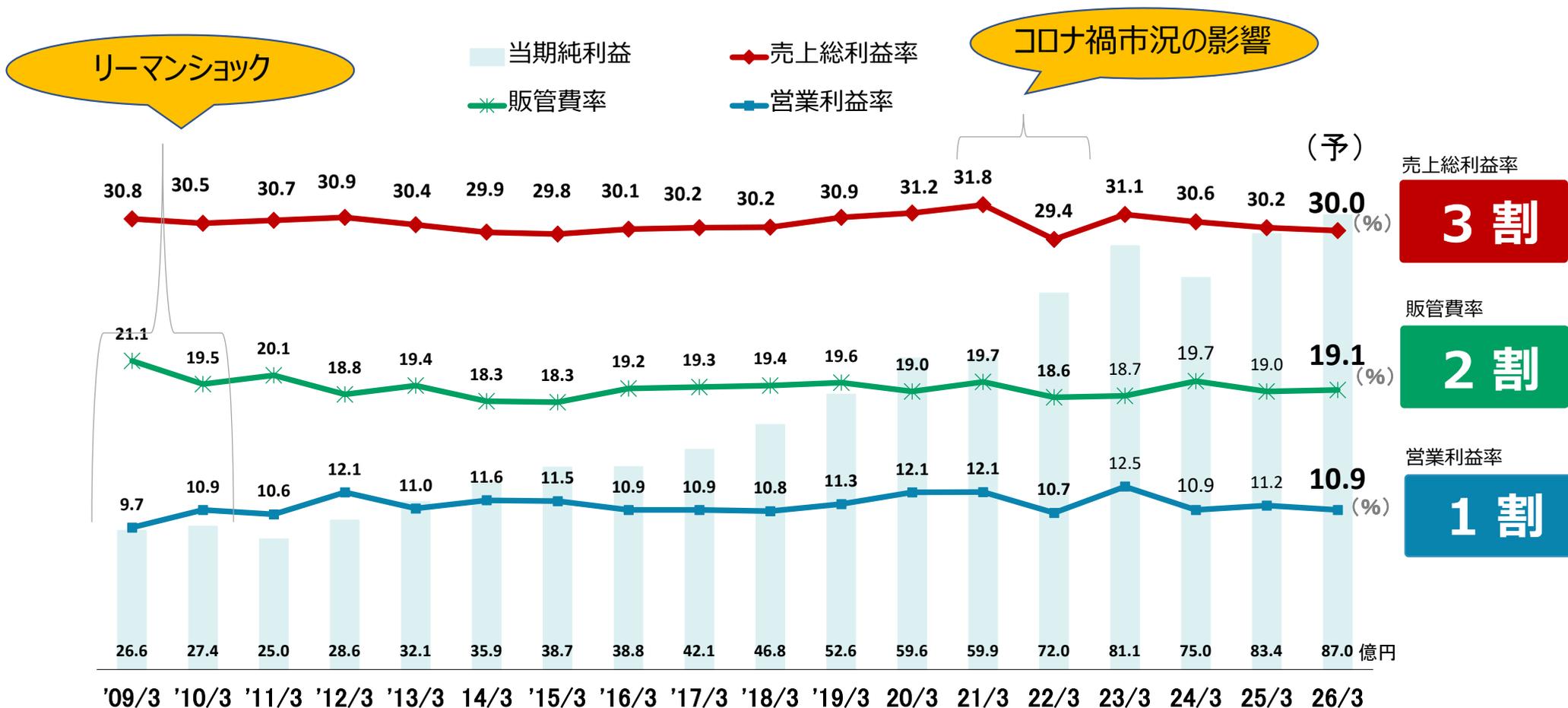
## レンタル&校正センター



<https://www.youtube.com/watch?v=SpHeL4oxTkM&t=1s>

# (参考) 収益率推移

➤ ブレの少ない高収益体質。



## (参考) 分野別売上ヒストリカルデータ

	3/2001	3/2002	3/2003	3/2004	3/2005	3/2006	3/2007	3/2008	3/2009	3/2010	3/2011	3/2012	3/2013
売上高	30,617	29,332	31,417	34,462	36,747	40,506	44,242	46,088	44,762	43,808	45,532	47,204	48,128
	-	95.8%	107.1%	109.7%	106.6%	110.2%	109.2%	104.2%	97.1%	97.9%	103.9%	103.7%	102.0%
[LB:ラボラトリー]	18,510	17,459	18,573	20,421	21,539	23,997	26,173	27,284	25,960	25,012	26,193	27,385	27,632
	-	94.3%	106.4%	109.9%	105.5%	111.4%	109.1%	104.2%	95.1%	96.3%	104.7%	104.6%	100.9%
[ID:インダストリー]	5,864	5,245	6,034	6,886	7,867	8,301	9,137	9,919	9,200	8,404	9,514	9,846	9,440
	-	89.4%	115.0%	114.1%	114.2%	105.5%	110.1%	108.6%	92.8%	91.3%	113.2%	103.5%	95.9%
[MD:メディカル]	5,901	6,284	6,527	6,854	7,036	7,838	8,539	8,680	9,602	10,391	9,825	9,973	11,057
	-	106.5%	103.9%	105.0%	102.7%	111.4%	108.9%	101.7%	110.6%	108.2%	94.6%	101.5%	110.9%
その他	341	342	282	299	305	369	392	204	事業売却	-	-	-	-
	-	100.3%	82.4%	106.0%	102.0%	121.0%	106.2%	52.0%	-	-	-	-	-

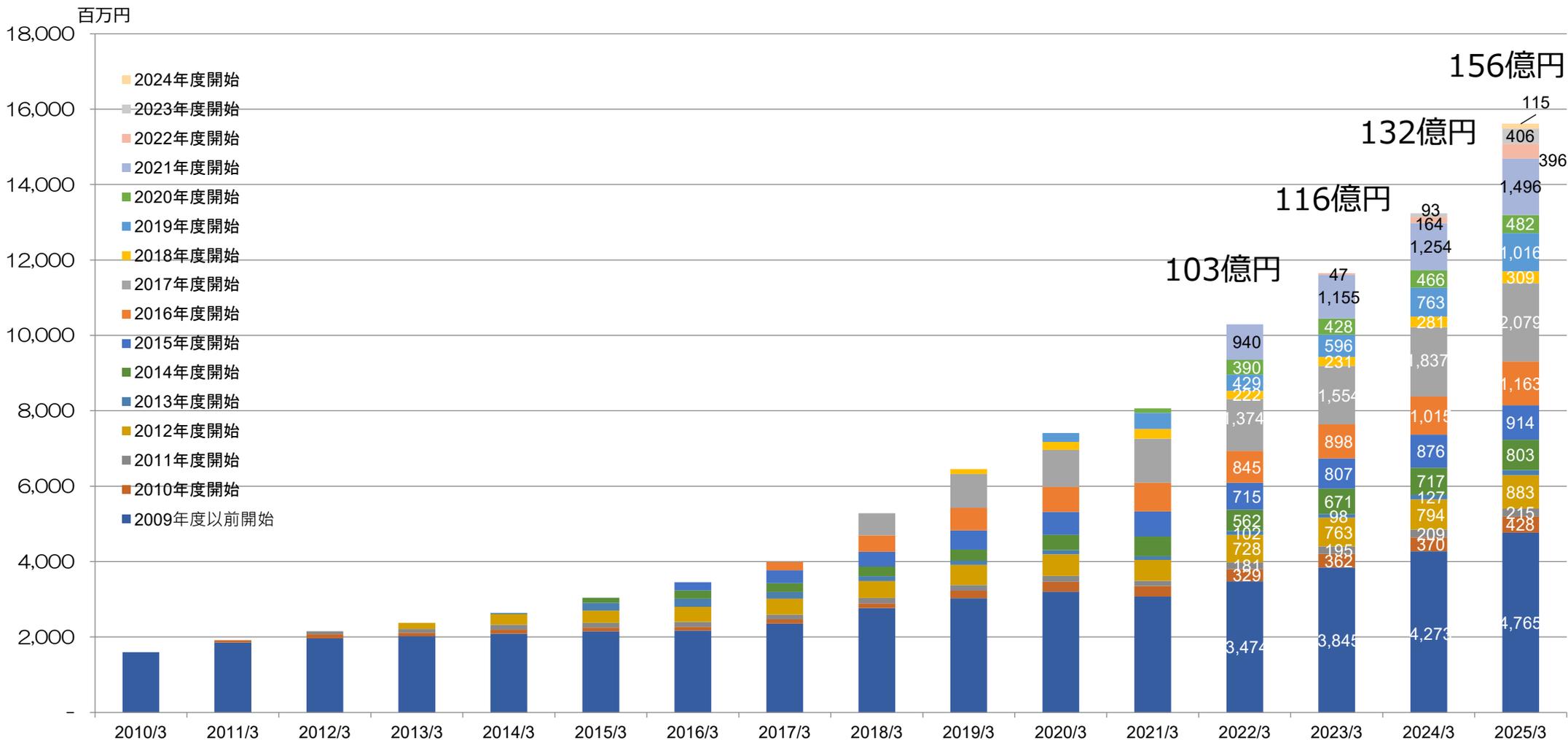
ITバブル崩壊

リーマンショック

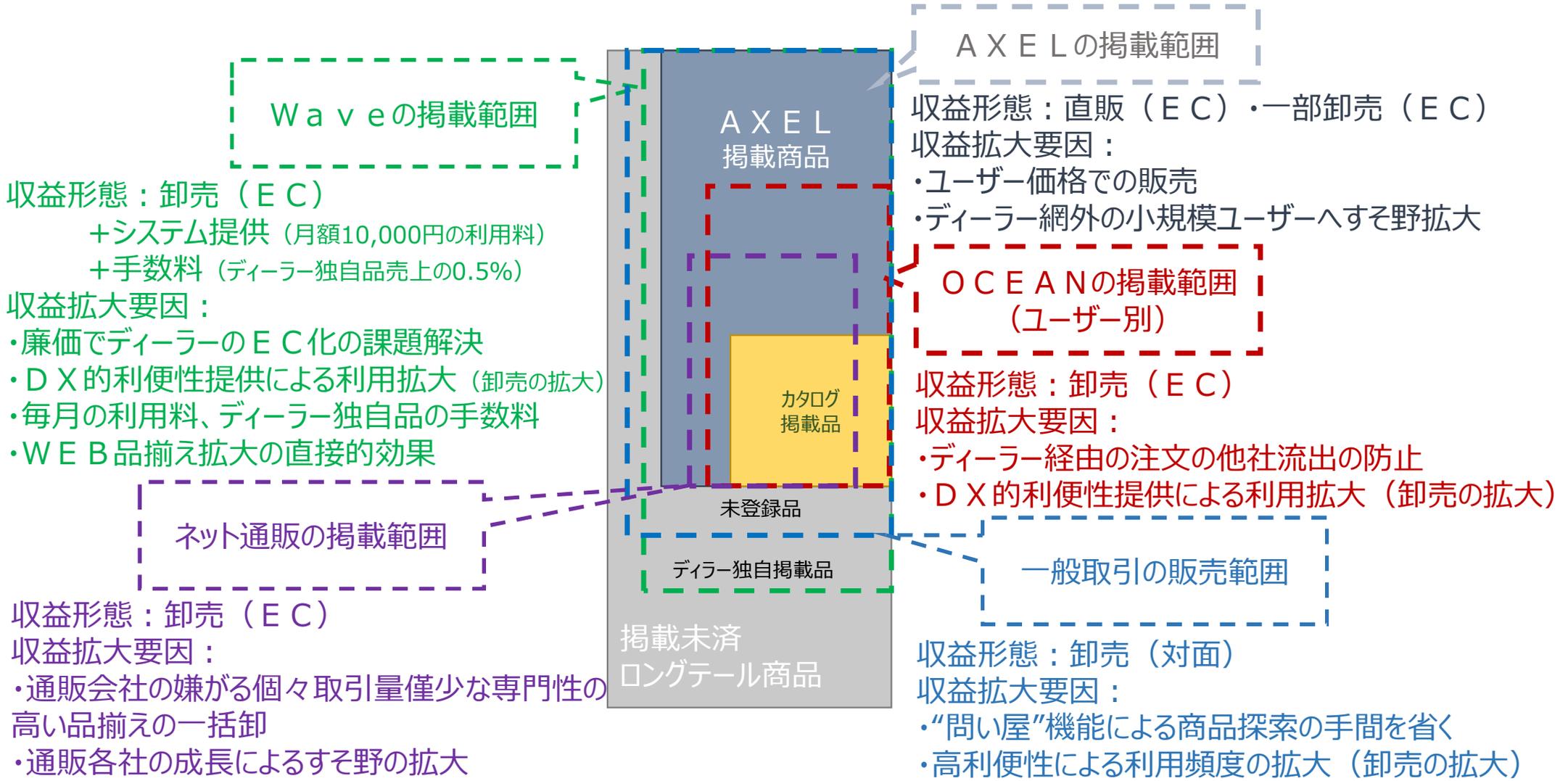
	3/2014	3/2015	3/2016	3/2017	3/2018	3/2019	3/2020	3/2021	3/2022	3/2023	3/2024	3/2025
売上高	51,192	52,042	53,577	55,948	60,960	66,733	70,390	81,606	86,954	91,421	95,536	103,752
	106.4%	101.7%	102.9%	104.4%	109.0%	109.5%	105.5%	115.9%	106.6%	105.1%	104.5%	108.6%
[LB:ラボラトリー]	29,756	30,158	31,206	32,356	35,293	38,918	41,073	44,745	51,236	54,094	59,013	63,889
	107.7%	101.4%	103.5%	103.7%	109.1%	110.3%	105.5%	108.9%	114.5%	105.6%	109.1%	108.3%
[ID:インダストリー]	9,850	10,376	11,211	12,170	13,649	14,728	15,117	15,391	16,799	18,165	19,286	22,178
	104.3%	105.3%	108.0%	108.6%	112.2%	107.9%	102.6%	101.8%	109.1%	108.1%	106.2%	115.0%
[MD:メディカル]	11,587	11,507	11,160	11,422	12,017	12,662	13,779	21,049	18,408	18,586	16,683	17,094
	104.8%	99.3%	97.0%	102.3%	105.2%	105.4%	108.8%	152.8%	87.5%	101.0%	89.8%	102.5%
その他	-	-	トライアンプ21買収			425	421	420	509	575	553	591
	-	-	-	-	-	-	99.0%	99.8%	121.1%	112.9%	96.2%	106.9%

統合レポート連続財務サマリー [https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym4/163947/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir_material_for_fiscal_ym4/163947/00.pdf)

# (参考) 集中購買開始年度別売上推移

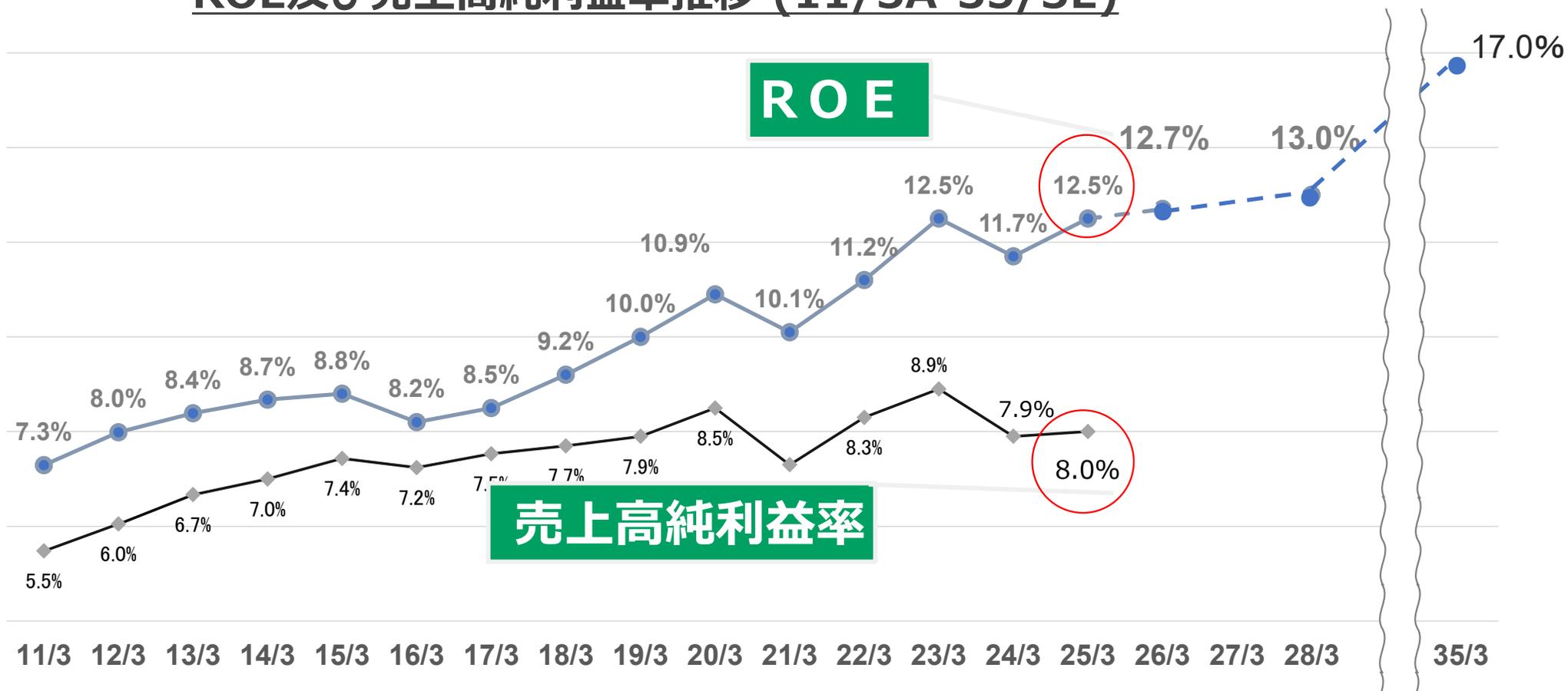


# (参考) 販売形態別の掲載範囲イメージと収益拡大要因



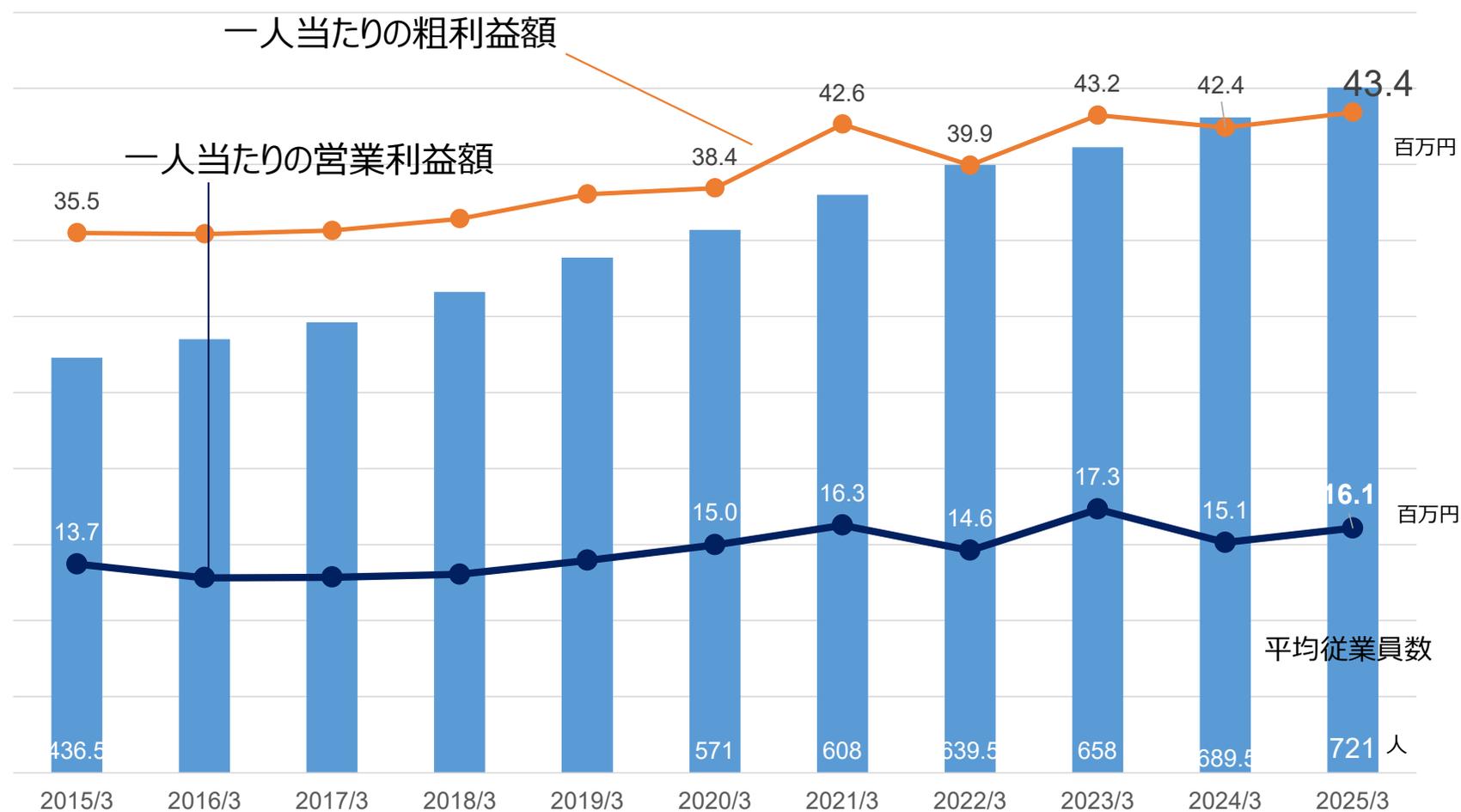
## (参考) ROE向上を目指す

### ROE及び売上高純利益率推移 (11/3A-35/3E)

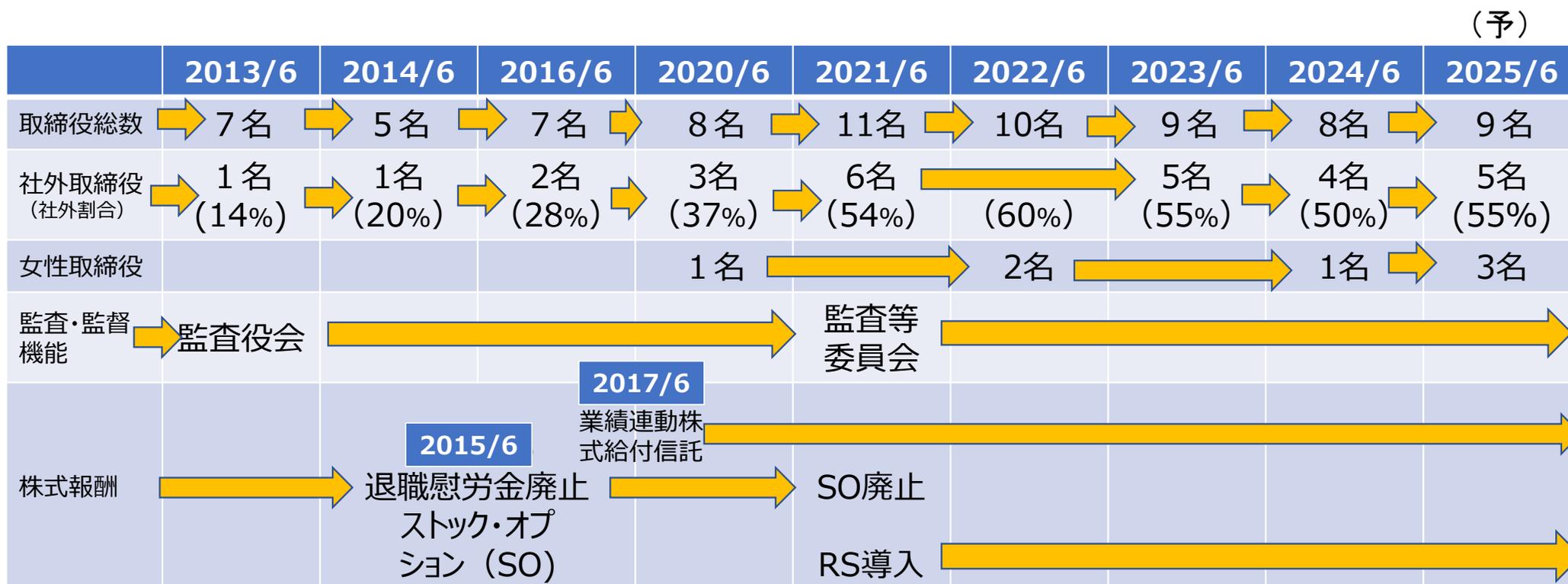


資本コストを意識した経営による資本効率の更なる向上

## (参考) 1人当たりの生産性 (連結)



# (参考) ガバナンス改革の推移



## (参考) 用語集

用語	解説
科学技術基本計画	科学技術基本法に基づき、政府が、総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画を策定するもの。第5期科学技術基本計画は、2021年度から2025年度までの5年間を対象とし、総額約30兆円が閣議決定されている。 第3期は25兆円、第4期は26兆円の計画でした。
科学技術研究費	政府が行っている「科学技術研究調査」によれば、科学技術に関する研究・開発のために支出された費用は、2022年度で20兆7,040億円（+4.9%）にのぼる。この費用には人件費、原材料費、その他研究開発のために支出された経常的費用と、研究開発用の固定資産を取得するために支出された費用が含まれる。国と地方公共団体の科学技術関係予算は9.4兆円（2022年度）。
科研費	文科省の競争的資金制度の一部として、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする。ピア・レビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行われるもの。競争的資金制度には他に戦略的創造研究推進事業、研究成果展開事業、国家課題対応型研究開発推進事業等がある。 <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/02_itiran.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/02_itiran.htm</a>

## (参考) 用語集

用語	解説
ラボラトリー分野 (Laboratory)	主に大学や研究所（企業含む）に出入りしている販売店ルート。理化学分野の専門販売店、研究用試薬業者が中心。当社売上の約6割を占める。インダストリー分野と合わせてラボ・インダストリー部門を構成する。インダストリー分野と同時に総合カタログを2年に1回発刊。直近では2024年10月。
インダストリー分野 (Industry)	主に民間企業の工場に出入りする販売店ルート。当社の売上の約2割を占める。工作機械商、切削工具商、工業薬品業者、梱包資材業者などさまざまな業態の販売店がある。ラボラトリー分野と合わせてラボ・インダストリー部門を構成する。ラボラトリー分野と同時に総合カタログを2年に1回発刊。直近では2024年10月。
メディカル部門 (Medical) (メディカル・介護分野)	主に医療機関に出入りする販売店ルート。医療器商社、医薬品販売業者などが中心。当社売上の約2割を占める。 通称「 <b>navis</b> *(ナビス)」。医療用総合カタログとして「ナビス看護・医療用品総合カタログ」を2年に1回発刊。直近では2023年11月。今年2025年秋頃に更新予定。

## (参考) 用語集

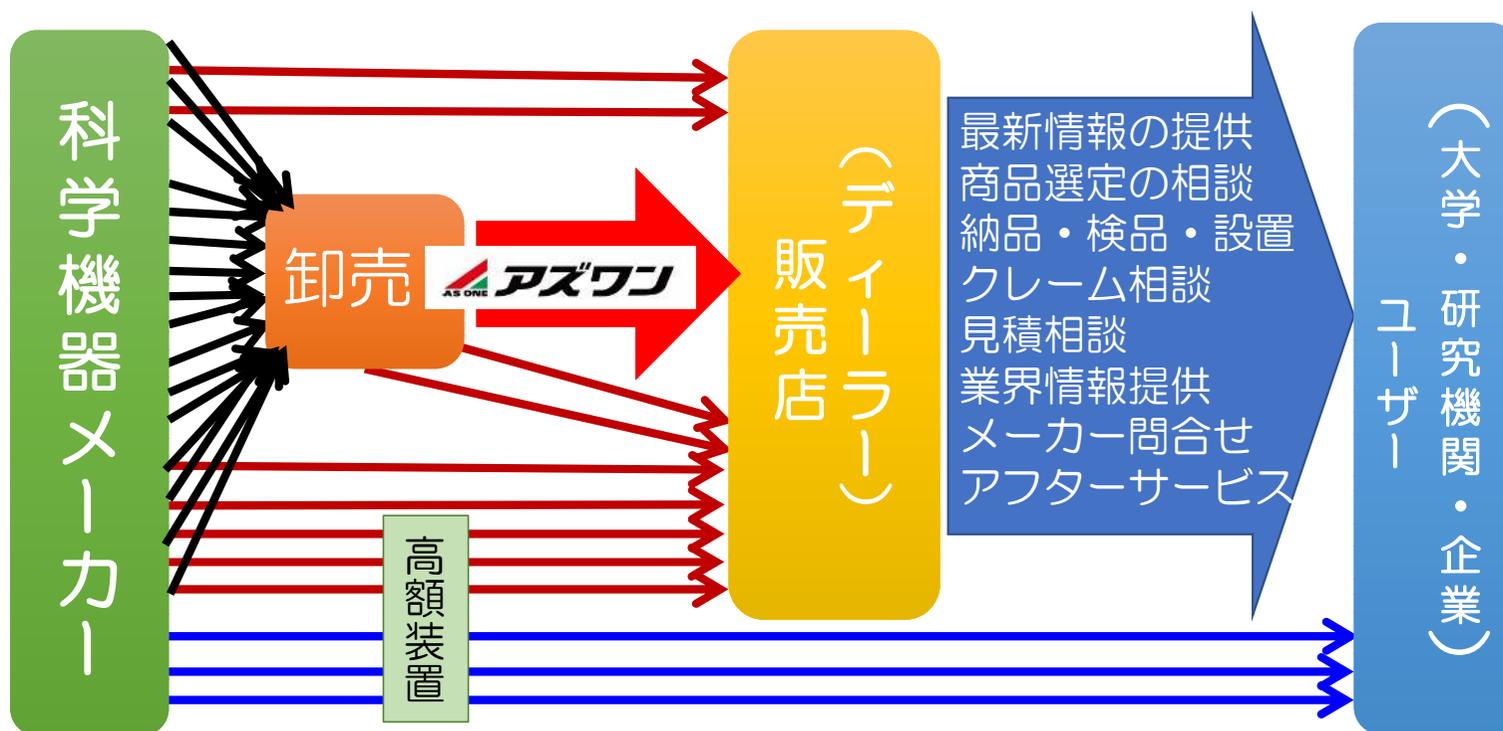
用語	解説
配達便と路線便	当社は、自社トラックを保有せず、出荷運送は外部運送業者に委託します。配達便とは、当社の専用トラックとして固定費で運用され、毎日同じルートで配達する傭車です。同じルートのため、折り畳みコンテナで配送し、廃棄される梱包材をセーブしながらエコ配達が可能です。路線便は、広域運送業者による混載配送であり、従量制料金となります。
総合カタログ	厚さ56mm、重さ3.6kgのアズワン主力カタログ。研究用総合機器カタログ及びサンクアスト産業用研究機器カタログの総称。おおむね2年ごとに更新・発刊しており、最近では2024年10月に116,200部を製作・発刊した。2年に1回の更新。
集中購買	全国各地の事業所、工場で、さまざまな業者から、その都度、バラバラな価格で購入しているような体制を、購入する物品のグループ別に購入先、価格を集約し合理化、効率化する購買方式。IT技術の進歩に伴い、いわゆるeコマースを利用して導入される場合が多い。当社では業界随一の品揃えと利便性の「 <b>ocean</b> 」というシステムでユーザーの集中購買を支援。
	アズワンのシステムと品揃えを利用し、販売店の集中購買サイトとして、販売店が主体となってユーザーにサービス提供できるECプラットフォーム。

## (参考) 用語集

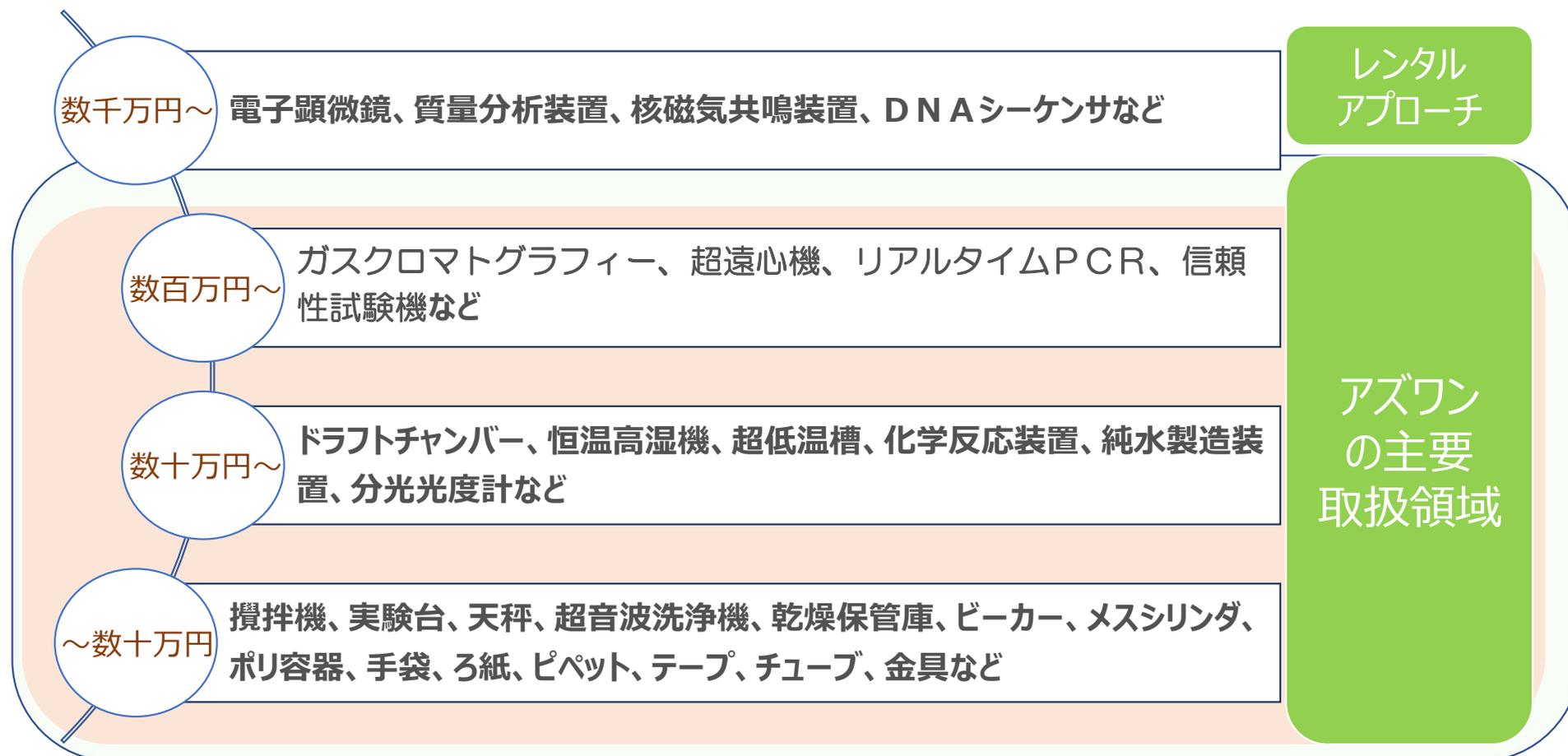
用語	解説
	Science & Health × Abundant × RE liable - Data Base 「科学・医療分野における、豊富で信頼のあるデータベース」 「業界のデータベース」としてユーザーが必要なあらゆる商品情報の保有を目指す。 「AXEL」や「ocean」や「Wave」の商品データベースでもある。
	「ASONE × Electronic Media」 アクセル検索システムを検索エンジンに据えた理化学機器販売サイト。販売店経由でIDを取得することで、一般ユーザーが1200万点以上の商品を閲覧・検索できるだけでなく、24時間いつでも販売店提示価格でWEB注文できる。注文はアズワンに直接入り、配送も直接されるが、請求は販売店経由となる。ユーザー、販売店、アズワンがWin-Win-WinのWEBShop。
 	商品検索システム <b>AXEL</b> の及び販売店の集中購買サイト <b>Wave</b> の英語版。英語をベースに16言語への翻訳機能を備える。海外の販売店やユーザーが商品検索や見積もり依頼が可能。2025年3月現在掲載点数259万点。

## (参考) 用語集

用語	解説
販売店 (ディーラー)	日々ユーザーに出入りし、アズワンだけでなく、様々なメーカーや卸からも調達しユーザーに販売する。ユーザーに対し様々な有形無形のサービスを提供する。アズワンの売上は98%が販売店に対するものになる。



## (参考) カタログ・WEB主要対象品



## (参考) カスタマー相談センター

- 自社オリジナル品のみならず、卸としてたくさんのメーカー様（4,400社超）の専門的な商品の選定などをお手伝いいたします。

その凄さはTBS「がっちりマンデー!!」でも紹介されました。



### カスタマー相談センター



多品種の専門商品でありながら  
**即時解決率※80%以上**

※最初のお電話で解決する率

#### サービス内容

##### 1. 商品の内容に関するお問い合わせ対応

- ☞ カタログ掲載商品の内容・仕様について
- ☞ 商品選定のご相談
- ☞ 商品の使用方法について
- ☞ その他、オプション製品や特注品、カタログ掲載外商品の取り扱いについて

##### 2. 商品の資料請求に関する対応

- ☞ 各種カタログ
- ☞ 単品パンフレット
- ☞ 製品図面 / 各種データ / 取扱説明書

## (参考) ESG格付

年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) がE (環境) S (社会) G (ガバナンス) に配慮した投資を行うに際し、採用するESG指数のひとつであるMSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数に採用されております。2025年5月現在MSCIによるESG格付は“AA”にランクされております。

MSCI ジャパンESG セレクト・リーダーズ指数

<https://www.msci.com/msci-japan-esg-select-leaders-index-jp>



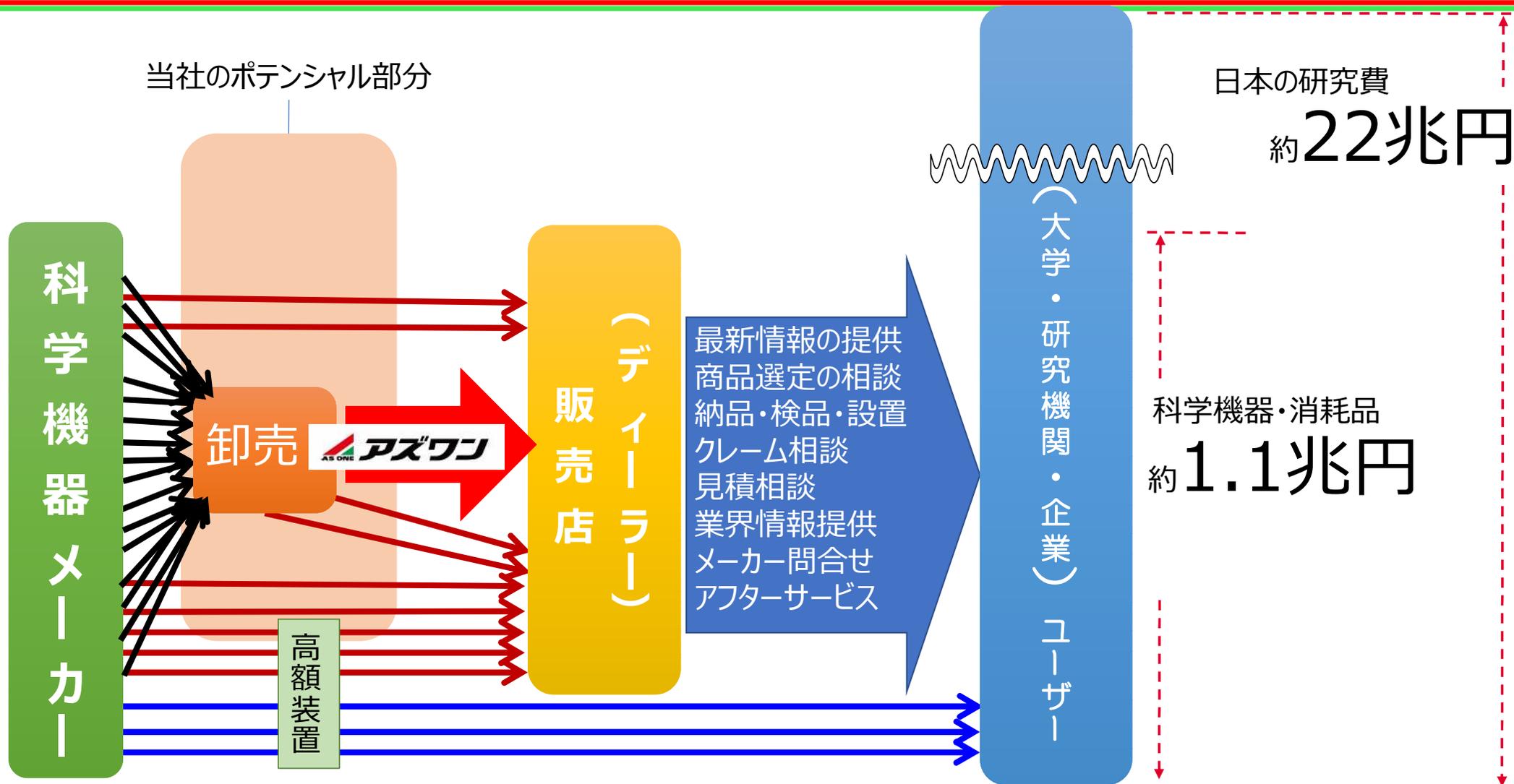
Integrated Report  
Award 2024 優秀賞

日興リサーチセンター

NIKKEI  
**Smart  
Work**

再エネ100宣言  
RE Action  
<https://saiene.jp/>

# (参考) 市場構造



# (参考) 日本の研究費 (人件費含む)

以下のような市場の推移の中でシェア拡大中

研究主体別研究費の推移

区分	総額	企業	非営利団体・ 公的機関	大学等	
研究費 (億円)	2013年度	181,336	126,920	17,420	36,997
	2014	189,713	135,864	16,888	36,962
	2015	189,391	136,857	16,095	36,439
	2016	184,326	133,183	15,102	36,042
	2017	190,504	137,989	16,097	36,418
	2018	195,260	142,316	16,160	36,784
	2019	195,757	142,121	16,435	37,202
	2020	192,365	138,608	16,997	36,760
	2021	197,408	142,244	17,324	37,839
	2022	207,040	151,306	17,312	38,421
対前年度比 (%)	2013年度	4.7	4.3	9.4	3.9
	2014	4.6	7.0	-3.1	-0.1
	2015	-0.2	0.7	-4.7	-1.4
	2016	-2.7	-2.7	-6.2	-1.1
	2017	3.4	3.6	6.6	1.0
	2018	2.5	3.1	0.4	1.0
	2019	0.3	-0.1	1.7	1.1
	2020	-1.7	-2.5	3.4	-1.2
	2021	2.6	2.6	1.9	2.9
	2022	4.9	6.4	-0.1	1.5
構成比 (%)	2013年度	100.0	70.0	9.6	20.4
	2014	100.0	71.6	8.9	19.5
	2015	100.0	72.3	8.5	19.2
	2016	100.0	72.3	8.2	19.6
	2017	100.0	72.4	8.4	19.1
	2018	100.0	72.9	8.3	18.8
	2019	100.0	72.6	8.4	19.0
	2020	100.0	72.1	8.8	19.1
	2021	100.0	72.1	8.8	19.2
	2022	100.0	73.1	8.4	18.6

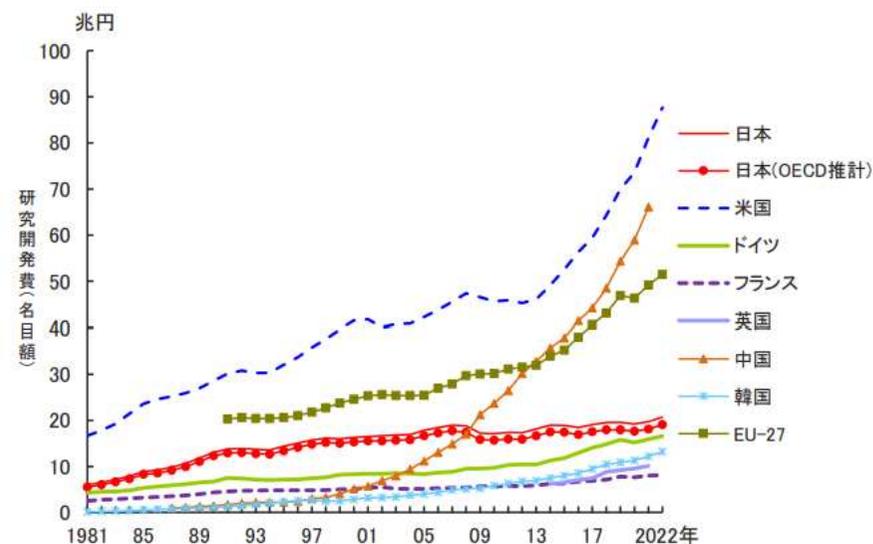
73.1% 8.4% 18.6%

(総務省統計局2023年科学技術研究調査 結果の概要 [https://www.stat.go.jp/data/kagaku/kekka/kekagai/pdf/2023ke\\_gai.pdf](https://www.stat.go.jp/data/kagaku/kekka/kekagai/pdf/2023ke_gai.pdf))

【図表 1-1-1】 主要国における研究開発費総額の推移



(A)名目額(OECD 購買力平価換算)



科学技術指標2024

<file:///C:/Users/muratsh1/Downloads/NISTEP-RM341-FullJ.pdf>

# (参考) 日本の科学技術国家予算①

内閣府: 科学技術関係予算令和6年度当初予算案令和5年度補正予算の概要についてより  
<https://www8.cao.go.jp/cstp/budget/r6yosan.pdf>



5年で 2021~2025  
 18兆円 → 21兆円 → 22兆円 → 23兆円 → 26兆円 → **32兆円**

# (参考) 日本の科学技術国家予算②

## 科学技術 基本計画の概要

- 2021年3月内閣府公表
- 政府研究開発投資総額  
5年で 30兆円  
(前の5年実績 26兆円)
- 官民合算研究開発投資総額  
5年で 120兆円  
(前の5年実績 96兆円)

出典  
<https://www8.cao.go.jp/cstp/siryo/haihui053/sanko1.pdf>

**科学技術・イノベーション基本計画(案)(概要)**

**国内外における情勢変化**  
 再編の始まりと、科学技術・イノベーションを中核とする競争の激化  
 歳などグローバル・アジェンダの脅威の現実化  
 フォーマーによる情報独占と、巨大な富の偏在化

**新型コロナウイルス感染症の拡大**  
 ○ 国際社会の大きな変化  
 - 感染拡大防止と経済活動維持のためのスピード感のある社会変革  
 - サプライチェーン寸断が迫る各国経済の持続性と強靱性の見直し  
 ○ 激変する国内生活  
 - テレワークやオンライン教育をはじめ、新しい生活様式への変化

**科学技術イノベーション政策の方向性**  
 ○ 目的化したデジタルイノベーション  
 ○ 科学技術イノベーション政策の「総合知」による社会変革

**「グローバル課題への対応」と「国内の社会構造の改革」の両立が不可欠**

**我が国が目指す社会(Society 5.0)**

**国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会**

**一人ひとりの多様な幸せ(Well-being)の実現**

**持続可能性の確保**  
 SDGsの達成を見据えた持続可能な地球環境の実現  
 現世代のニーズを満たし、将来の世代が豊かに生きていける社会の実現

**【強靱性の確保】**  
 災害や感染症、サイバーテロ、サプライチェーン寸断等の脅威に対する持続可能で強靱な社会の構築及び総合的な安全保障の実現

**【経済的な豊かさとの質的な豊かさの実現】**  
 誰もが能力を伸ばせる教育と、それを活かした多様な活躍の場  
 人生100年時代に生涯にわたり生き生きと社会参加できる社会の実現  
 人々が夢を持ち続け、コミュニティにおける自らの役割を果たせる社会の実現

この社会像に「信頼」や「分かち合い」を重んじる我が国の伝統的価値観を重ね、**Society 5.0を実現**

**Society 5.0の実現に必要なもの**  
 サイバー空間とフィジカル空間の融合による持続可能で強靱な社会への変革  
 新たな社会を設計し、価値創造の源泉となる「知」の創出

**「総合知による社会変革」と「知・人への投資」の好循環**

**Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策**

➢ 総合知やエビデンスを活用しつつ、未来像からの「バックキャスト」を含めた「フォーサイト」に基づき政策を立案し、評価・検証を進める  
 ➢ 5年間で、政府の研究開発投資の総額 **30兆円**、官民合わせた研究開発投資の総額 **120兆円** を目指す

**国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革**

(1) **サイバー空間とフィジカル空間の融合による新たな価値の創出**  
 ・ 政府のデジタル化、デジタル庁の発足、データ戦略の完遂（ベースレジストリ整備等）  
 ・ Beyond 5G、スパコン、宇宙システム、量子技術、半導体等の次世代インフラ・技術の整備・開発

(2) **地球規模課題の克服に向けた社会変革と非連続なイノベーションの推進**  
 ・ カーボンニュートラルに向けた研究開発（基金活用等）、循環経済への移行

(3) **レジリエントで安全・安心な社会の構築**  
 ・ 脅威に対応するための重要技術の特定と研究開発、社会実装及び流出対策の推進

(4) **価値共創型の新たな産業を創出する基盤となるイノベーション・エコシステムの形成**  
 ・ SBIR制度やアントレ教育の推進、スタートアップ拠点都市形成、産学官共創システムの強化

(5) **次世代に引き継ぐ基盤となる都市と地域づくり(スマートシティの展開)**  
 ・ スマートシティ・スーパーシティの創出、官民連携プラットフォームによる全国展開、万博での国際展開

**様々な社会課題を解決するための研究開発・社会実装の推進と総合知の活用**  
 ・ 総合知の活用による社会実装、エビデンスに基づく国家戦略\*の見直し・策定と研究開発等の推進  
 ・ シンシットやSIP等の推進、知財・標準の活用等による市場獲得、科学技術外交の推進

**知のフロンティアを開拓し価値創造**

(1) **多様で卓越した研究を生み出す環境の再構築**  
 ・ 博士課程学生の処遇向上とキャリアパスの拡充  
 ・ 女性研究者の活躍促進と基礎研究・学術研究の推進  
 ・ 人文・社会科学の振興と総合知の創出（フロンティア）

(2) **新たな研究システムの構築(オープンサイエンス)**  
 ・ 研究データの管理・利活用、スマートラボ・AI活用  
 ・ 研究施設・設備・機器的整備・共用、研究データの共有

(3) **大学改革の促進と戦略的経営に向けた機能強化**  
 ・ 多様で個性的な大学群の形成（真の経営者としての大学）  
 ・ 10兆円規模の大学ファンドの創設

**一人ひとりの多様な幸せと課題への対応**  
 探究力と学び続ける姿勢を強化する教育・人材育成  
 ・ 初等中等教育段階からのSTEAM教育やGI教育の推進  
 ・ 大学等における多様なカリキュラムやプログラムの展開

\*AI技術、バイオテクノロジー、量子技術、マテリアル、宇宙、海洋、環境エネルギー、健康・医療、食料・農林水産業等

---

決算概要・中期経営計画・ビジネスモデル等にご質問がございましたら  
こちらまでご連絡ください。

広報 I R 部

06-6447-8821

[asone\\_ir@so.as-1.co.jp](mailto:asone_ir@so.as-1.co.jp)

ビジネスモデル解説資料2024年9月改定版

[https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym1/163029/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir_material_for_fiscal_ym1/163029/00.pdf)

中期経営計画FY2025-27

[https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym1/178724/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir_material_for_fiscal_ym1/178724/00.pdf)

当資料に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータ改ざん等に関し、事由の如何を問わず一切の責任を負うものではありません。

当資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、当資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関する決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。

当資料の著作権は、アズワン株式会社にあります。無断コピーはお断りいたします。

